

尾張北部自然観察会

2025年2月1日(土) 曇り

参加者 指導員7名、一般10名 計17名

冬の植物観察に各務原の河川環境楽園へ向かいました。今年はロウバイ、ソシンロウバイもまだ蕾、お目当てのセツブンソウ、フクジュソウ、ミスミソウも開花まであと一息の状態でした。ヒュウガミズキの花芽も膨らんでおり春の訪れは間近です。ジャノヒゲより大きなノシランの種子のコバルトブルーの皮をむきスーパーボールのように弾ませたり、巨大なサイカチの豆果の中の種子は小さく扁平であることに驚いたり、ウワミズザクラの落枝痕やハクウンボクの予備芽、コマユミの赤く尖った芽等の樹木の冬芽を観察しました。

昼食後エーザイの薬用植物園に移動し、野外ではハンカチノキの実、カシワの枝葉、カギカズラのカギ状の刺、サンザシの実、ニッケイ・ヤブニッケイ・マルバニッケイの違いなどを、温室では最初のコーラはその実が原料であったというコーラノキの花、ロウソクノキの花など普段目にする事のない植物を観察することができました。

(後藤)



ロウバイ



セツブンソウ



フクジュソウ



ヒュウガミズキ



ノシラン



サイカチ



ウワミズザクラ



ハクウンボク



コマユミ



ミツバウツギ



イヌシデ



ホオノキ



カギカズラ



サンザシ



メグスリノキ



テンダイウヤク



ニッケイ



ヤブニッケイ



マルバニッケイ



ニシキギ



ナツメ



コーラノキ



ロウソクノキ



カカオ